

「話し合いの場」

<p>第1部</p> <p>ウォーミングアップ</p>	<p>地域活動の立ち上げ・継続が上手くいくと思うアイデア</p> <p>【事業実施の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄付を集める ・定期開催 ・区報に載せる ・スポーツ ・バザー ・クラウドファンディング ・安定した場所の確保 ・PR方法 ・ターゲットの選定 ・提供品を募る ・無料の場所提供 ・無理のないプラン ・子どもが来やすい内容 ・おみやげがある ・お金がかからない内容 ・なくてはならない存在になる <p>【ネットワークでの協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会、PTA、青少対、議員の協力 ・学校、包括の協力 ・地域住民を巻き込む ・アイデアを募集する ・企業の協力 ・NPOの力を借りる ・シニアクラブ、保育園の協力 ・役所の協力 ・お金持ちの協力 <p>【支援のしくみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金の申請 ・町内掲示板 ・回覧板 ・SNS ・立ち上げ部をつくる
<p>主な参加者種別</p>	<p>自治会・町会の方、民生委員児童委員、青少年対策地区委員会、区民活動団体、NPO法人、社会福祉法人、民間企業、児童館、子ども家庭支援センター、地域包括支援センターなど</p>
<p>2部</p> <p>地域活動継続のための課題の乗り越え方</p>	<p>地域活動継続のための課題の乗り越え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で同じ内容のイベントを実施してもよいのではないかな？ 例えばガーデンパーティーのようなイベント 年度で当番制にすれば負担も少ないのではないかな？ ・青少対が行っているリーダー講習会のようなシステムを作ってはどうか？ → 次世代を育てる仕組みを検討する必要がある。 ・ボランティア講習会の開催 地域のイベントの手伝いに入って経験を積む ボランティアについては、学校教育の中に組み込む必要あり 子どもの頃からの経験が大事。大人になってからも自発的に動ける教育制度

・社会貢献しているという意識を持ってもらえればモチベーションも保てる
地域活動をする事で、皆がお得感を持てるような仕組みづくりがあるとよい
→ボランティアポイントなど

・地域活動

自分がなにができるか考える機会があるとよいのでは？

まつりやイベントの準備は誰がしているのだろう??と考えるきっかけ
を持ってもらうことも意味があると思う。

→次世代を育てなければ5年後・10年後には人がいなくなるだろう。次世代
を育てる仕組みづくりが重要ではないか？

・子どもの頃からのボランティア等への参加が大切ではないか。

学校などに協力を求めて授業等に入れてもらうなど。

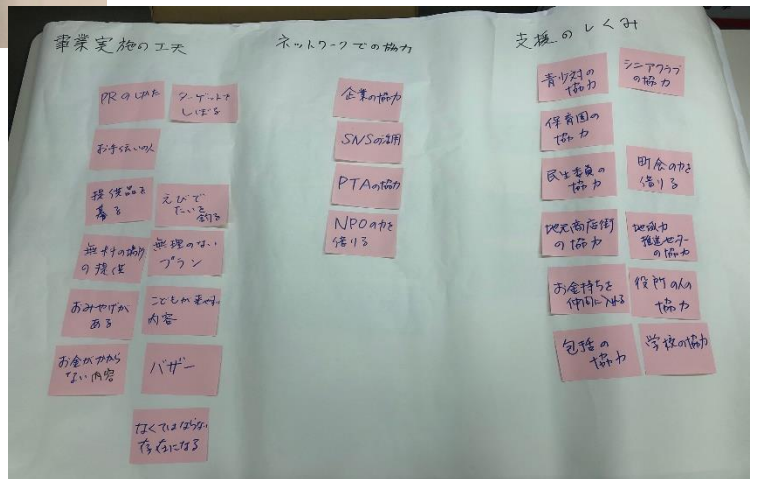
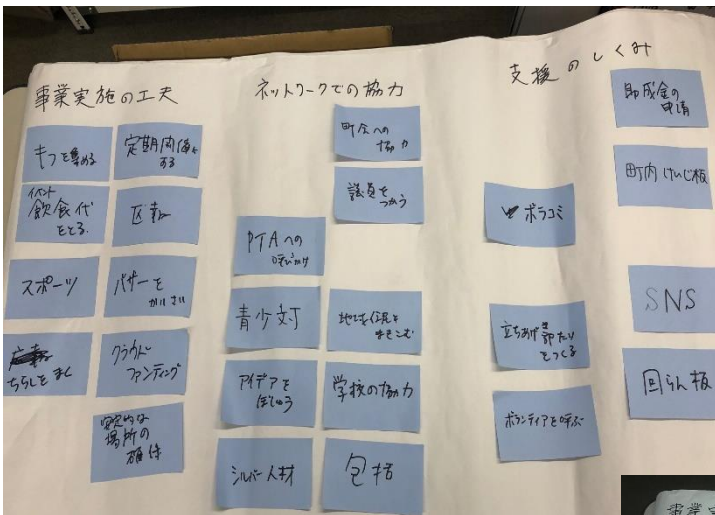
・寄付やボランティアの参加を募集する。してくれた方には何かしらのお返し
などがあるとモチベーションにつながる。

・青少対や学校に協力を求める。しかし、学校は協力するのも限界かもしれない。

参加者の話し合いの様子



話し合いの結果



次回は、**11月5日(火)**に今年度半年の振り返りを行います。どうぞよろしくお願いいたします！18時30分から20時30分まで会場は、六郷地域力推進センター4階会議室です。

お待ちしております。